

近畿本部（登録）防災研究会
第10回「防災講演会」のご案内

テーマ：地震に伴う広域地盤変動を考慮した氾濫リスクに関する基礎的研究

近畿本部（登録）防災研究会の防災講演会を以下のとおり開催いたします。防災に関わる問題は、全ての技術部門の技術士にとって重要なテーマのひとつです。多くの方々のご参加をよろしくお願い致します。なお、まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

記

日 時：平成 29 年 8 月 22 日（火） 19:00～20:00
 ※18:30～19:00 防災研究会例会を開催します。
 場 所：日本技術士会近畿本部会議室
 内 容：「地震に伴う広域地盤変動を考慮した氾濫リスクに関する基礎的研究」
 講 師：大阪府都市整備総務課参事（東大阪市建設局副技監） 江原竜二氏 博士(学術)
 参 加 費：500 円（防災研究会会員は無料）
 懇 親 会：講演会終了後、会場の近くで開催（会費 3,000 円程度）
 申込み期限：平成 29 年 8 月 19 日（土）

近畿本部（登録）防災研究会 第 10 回「防災講演会」参加申込書

平成 29 年 月 日

氏 名	防災研究会（会員、非会員）	
懇 親 会	参加する	参加しない

防災研究会の会員以外
 の方は以下も記載して
 下さい。

技術士部門	技術士会（会員、非会員）	
勤 務 先		
電話番号		
FAX 番号		
メールアドレス		

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会

E-mail：minamigawa@etude.ocn.ne.jp

FAX：072-242-7179（担当幹事：南側晃一）

第10回「防災講演会」

「地震に伴う広域地盤変動を考慮した氾濫リスクに関する基礎的研究」

大阪府都市整備総務課参事(東大阪市建設局副技監) 江原 竜二
博士(学術)



【略歴】

氏名 江原竜二 昭和39年8月28日生(大阪府出身)
(現住所;京都市西京区嵐山茶尻町3-7)

学歴 昭和63年3月 関西大学工学部土木工学科卒業
平成26年4月 関西大学大学院社会安全研究科博士課程後期課程入学
平成29年3月 同課程修了、博士(学術)取得
(学位論文:地震に伴う広域地盤変動を考慮した氾濫リスクに関する基礎的研究)

職歴 昭和63年4月 大阪府庁入庁 枚方土木事務所に配属
平成4年4月 河川課
平成8年4月 西大阪治水事務所
平成11年5月 茨木市派遣(ダム推進課参事)
平成14年4月 JICA派遣(建設管理専門家、中国水利部)
平成17年4月 安威川ダム建設事務所
平成20年4月 危機管理室課長補佐
平成23年4月 河川室課長補佐(ダムグループ長)
平成26年4月 安威川ダム建設事務所建設課長
平成28年4月 都市整備総務課参事・東大阪市派遣(建設局副技監)

【講演内容】

地震に伴う広域地盤変動は、今や治水計画の構想・計画段階において考慮すべき地震ハザードと言える。海溝型地震は津波を伴うことから、海域沿岸の地盤変動量の予測は、津波高を想定することに加え、防災対策を検討する上で非常に重要な項目となっている。しかし、内陸断層帯地震に伴う広域地盤変動は、陸域の公共用水域の代表である河川からの氾濫リスクを惹起する、地震発生後の防災上の検討課題としては取り上げられず、本格的に検討されてこなかった。

本講演の内容は、地球物理学、土木工学等から得られる科学的根拠に基づき、内陸断層帯の活動に伴う広域地盤変動を定量的に推定する手法を説明し、加えて、このような広域地盤変動により、河川の氾濫リスクが惹起される可能性を明らかにするとともに、広域地盤変動が治水計画の構想・計画段階において考慮すべき地震ハザードであることを明示するものである。